

バス停からの 小さな旅



07 バス停「八坂(まちなかぐるっと線)」から 昭和初期の太田の町並みを歩く

中山道太田宿の宿場町として栄えた太田の町は、明治時代になると、商業や地域の行政機能などを備えた町へと変化し、周辺地域の中心的役割を果たしていきます。

郡制が敷かれるのに伴って加茂郡役所が明治12年に置かれたほか、太田町役場、太田警察署、太田郵便局など行政機関や地方銀行といった金融機関も、中山道筋に建設されました。現在もまだ残っている建物が数棟あり、当時をしのぶことができます。

郵便局は明治9(1876)年に中山道筋の太田町下町に開設され、太田、古井、山之上、蜂屋、加茂野、坂祝の各村を受け持ちました。建物は、明治から昭和にかけて数回移転していますが、昭和元(1926)年12月に建てられた建物が、カフェとなって現存しています。昭和11年、開業10年の記念写真(下)に写る建物は現在とほとんど変わりません。木造モルタル造りのモダンな建物は、今でもとてもすてきです。

【参考】みのかも文化の森ホームページ

「美濃加茂事典」「太田郵便局」の項

☎文化の森 ☎28・1110



今回乗車したバス

行き…まちなかぐるっと線

左まわり3便

帰り…あまちの森・しようよう線

右まわり4便

10時53分 美濃太田駅南口
10時58分 八坂

旧太田郵便局や昭和の建物を散策

12時04分 中山道会館
12時08分 美濃太田駅南口



▲カフェとなって現存している建物(旧太田郵便局)



▲開業10年の記念写真(昭和11年10月撮影)